

剣道実施要項

主管校 石川工業高等専門学校

担当校 富山高等専門学校

I 男子団体の部

1. 期 日	令和 7 年 7 月 5 日(土)
2. 会 場	新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場 富山県射水市久々湊 467 0766-82-8277
3. 開会式	7 月 5 日(土) 13:00
4. 閉会式	7 月 6 日(日) 12:20
5. 競技開始時間	7 月 5 日(土) 13:15
6. 監督者会議	7 月 5 日(土) 12:00
7. チーム人員	監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、 選手 7 名以内(試合者 5 名)、計 10 名以内
8. 競技方法	(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高 専申し合わせ事項による。 (2) リーグ法とし、勝敗数法で行う。 (3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、勝敗が決しないときは、 1 回だけ 2 分の延長戦を行い、有効打突がないときは引き 分けとする。 (4) 連戦となるチームがある場合には、試合間に 5 分間のイ ンターバルを設ける。 (5) 団体の勝敗で勝者数が同数で総本数も同数のときは引き 分けとする。 (6) リーグ法の順位の決定は、勝ちを 1 点、引き分けを 0.5 点、負けを 0 点として勝点の多い順に決定する。勝点と同 数のときは勝者数の多い方を上位とし、なお、勝点、勝者 数が同数のときは総本数が多い方を上位とする。さらに、 総本数が同数の場合は代表者戦によって順位を決する。 代表者戦は、出場登録された任意の選手により行う 1 本 勝負とし、試合時間 4 分とする。試合時間内に勝敗が決 しない場合は、3 分ごとの延長戦を行う。延長 2 回ごと に「休憩」「休息(給水可)」を繰り返す。 (7) オーダーは前試合終了後速やかに提出し、試合者は試合 毎に組み替えてもよい。但し、チームの人数が 3 名の場合 は先鋒・中堅・大将に、4 名の場合は先鋒・中堅・副将・ 大将に選手を置いてオーダーを組むこととする。

9. 表 彰	(1) 表彰は 1 位～3 位までに賞状を授与し、1 位に優勝杯を 授与する。 (2) 優勝チームは全国高等専門学校体育大会剣道競技団体 の部の出場権を得るものとする。
10. そ の 他	(1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。 (2) 竹刀はゲージをパスしたもの。 (3) 4 年生以上は、長さ 120 cm 以下、重さは 510g 以上とし、 3 年生以下は、長さ 117cm 以下、重さは 480 g 以上とする。 いずれも先革の太さは 26mm 以上、ちくとう部の太さは 21mm 以上とする。

II 男子個人の部

1. 期 日	令和 7 年 7 月 6 日(日)
2. 会 場	新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
3. 競技開始時間	7 月 6 日(日) 9:30

4. 監督者会議	7 月 5 日(土) 12:00
5. 出 場 人 員	監督 1 名、選手 8 名以内
6. 競技方法	(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高 専申し合わせ事項による。 (2) トーナメント法による。 (3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、制限時間に勝敗が決しな いときは 3 分ごとの延長戦を行い、先に 1 本取った者を勝 ちとする。延長 2 回ごとに「休憩」「休息(給水可)」を繰 り返す。 (4) 個人戦において連戦となる場合は、3 分間の給水時間を 設け、着装後に試合を開始する。

7. 表 彰	(1) 表彰は 1 位～3 位までに賞状を授与する。 (2) 上位 2 名は、全国高等専門学校体育大会剣道競技個人の 部の出場権を得るものとする。
--------	---

8. そ の 他	(1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。 (2) 竹刀ゲージをパスしたもの。 (3) 4 年生以上は、長さ 120 cm 以下、重さは 510g 以上とし、 3 年生以下は、長さ 117cm 以下、重さは 480 g 以上とする。 いずれも先革の太さは 26mm 以上、ちくとう部の太さは 21mm 以上とする。
----------	---

III 女子団体の部

1. 期 日	令和 7 年 7 月 5 日(土)
2. 会 場	新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
3. 開会式	男子団体と同じ
4. 閉会式	男子団体と同じ
5. 競技開始時間	男子団体終了後
6. 監督者会議	男子団体と同じ
7. チーム人員	監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、 選手 5 名以内(試合者 3 名)、計 8 名以内
8. 競技方法	(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高 専申し合わせ事項による。 (2) リーグ法とし、勝敗数法で行う。 (3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、勝敗が決しないときは、1 回だけ 2 分の延長戦を行い、有効打突がないときは引き分 けとする。 (4) 連戦となるチームがある場合には、試合間に 5 分間のイ ンターバルを設ける。 (5) 団体の勝敗で勝者数が同数で総本数も同数のときは引き 分けとする。 (6) リーグ法の順位の決定は、勝ちを 1 点、引き分けを 0.5 点、負けを 0 点として勝点の多い順に決定する。勝点が 同数のときは勝者数の多い方を上位とし、また、勝点、勝 者数が同数のときは総本数が多い方を上位とする。さら に、総本数が同数の場合は代表者戦によって順位を決す る。代表者戦は、出場登録された任意の選手により行う 1 本勝負とし、試合時間 4 分とする。試合時間内に勝敗 が決しない場合は、3 分ごとの延長戦を行う。延長 2 回ご とに「休憩」「休息(給水可)」を繰り返す。

- (7) オーダーは前試合の中堅戦開始までに提出し、試合者は試合毎に組み替えてもよい。
但し、チームの人数が2名の場合は先鋒・大将に選手を置いてオーダーを組むこととする。

9. 表 彰

- (1) 表彰は1位～3位までに賞状を授与し、1位に優勝杯を授与する。
(2) 優勝チームは全国高等専門学校体育大会剣道競技団体の部の出場権を得るものとする。

10. そ の 他

- (1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2) 竹刀ゲージをパスしたもの。
(3) 4年生以上は、長さ120cm以下、重さは440g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは420g以上とする。
いずれも先革の太さは25mm以上、ちくとう部の太さは20mm以上とする。

Ⅳ 女子個人の部

1. 期 日

令和7年7月6日(日)

2. 会 場

新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場

3. 競技開始時間

男子個人終了後

4. 監督者会議

男子個人と同じ

5. 出 場 人 員

監督1名、選手は制限なし

6. 競 技 方 法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高専申し合わせ事項による。
(2) トーナメント法による。
(3) 試合時間は4分3本勝負とし、延長・連戦については男子の競技実施要項に準ずる。
(4) 男子個人戦の終了後、女子個人戦の開始前に15分程度のインターバルを設ける。

7. 表 彰

- (1) 表彰は1位～3位までに賞状を授与する。
(2) 上位2名は、全国高等専門学校体育大会剣道競技個人の部の出場権を得るものとする。

8. そ の 他

- (1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2) 竹刀ゲージをパスしたもの。
(3) 4年生以上は、長さ120cm以下、重さは440g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは420g以上とする。
いずれも先革の太さは25mm以上、ちくとう部の太さは20mm以上とする。